

令和5年（2023年）2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（２日目）

令和5年2月17日(金)

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	宇 根 良 也 (無所属クラブ)	1 保育行政について 2 電動キックボードについて 3 新真和志複合施設について	(1) 市長が掲げる施政方針の中で、認可保育園等の1歳クラスについては、ゆとりをもって安全に保育が可能となるよう国の基準以上の保育士配置を推奨し、そのために必要な支援を実施するとあるが、何故、1歳クラス限定なのか見解を伺う (2) インフルエンザ警報がでているが、令和5年1月から現在の児童、生徒、未就学児における、感染状況及び学級閉鎖等の現状を伺う 道路交通法の改正により、令和5年7月から、16歳以上、免許不要、ヘルメット無しで使用できることになるが、本市として安全面等、何らかの対策はあるか伺う 新真和志複合施設について進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	奥 間 亮 (自 民 党)	1 職員の処遇改善について	市職員と学校教職員の「業務過多」及び「人手不足」の状況、人事評価について
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 ケースワーカーについて	ケースワーカーの処遇改善が求められている。ケースワーカーの担当受け持ち世帯数と、今後の人員体制について問う
		3 児童虐待について	報道によると、令和３年度の児童虐待通報が過去最多となったとされている。コロナ禍や物価高等の社会情勢が複雑に絡み合い、家庭・児童を取り巻く環境の悪化が危惧されている現状もふまえると、子供の相対的貧困率が全国ワーストとも言われる沖縄県、その県都である那覇市は、これらに関連して、児童虐待事案への対応状況についても、他自治体よりもさらに過酷な状態になっていることは、容易に想像できる。児童虐待に関し、本市の現状とその対応状況、職員体制について問う
		4 住宅政策について	那覇市マンション管理適正化推進計画の意義と今後の課題について
		5 福祉行政について	(1) 避難行動要支援者制度は、災害時の対応のみならず、平時における「見守り」や「孤立化防止」の意義があるとされているが、このような福祉関連の諸課題に対して部分的にＩＴ・ＡＩ技術を活用することや、ＤＸ化を進めることの意義と、今後の取り組みについて (2) 福祉部所管の福祉施設等に対する各種指導監査の計画と課題について
		6 教育行政について	学校におけるコロナ対策について、感染症法上の分類が「５類」に移行した後の取組を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 行政と弁護士との連携について	県の児童相談所で配置されている嘱託弁護士の業務と、県教育委員会のスクールロイヤー制度における弁護士の業務について問う
		8 市営住宅について	市営住宅建替の財源について
		9 県都那覇市における各種交流事業について	県都として県内市町村と連携・交流する必要性と、地域住民と直接対話・交流することの意義について、知念市長の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	上 原 仙 子 (みんなの協働！) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 協働によるまちづくりについて 2 消防行政について 3 下水道行政について 4 福祉行政について 5 文化行政について	(1) コロナ禍で３年ぶりの開講となった令和４年度なは市民協働大学及び大学院の実績と効果を伺う (2) 校区まちづくり協議会について、次年度、特に力を入れたい事業や取組みは何か伺う 今月、新たに那覇西消防署小禄南出張所が開所し、さらに県内初の女性消防士の所長が誕生したことに、地域からも大きな期待が寄せられている。小禄南出張所における女性職員が働きやすい環境整備について伺う (1) 小禄の袋廻川に設置許可がされていない所有者不明の橋及びその付属構築物の老朽化が進み、崩落の恐れがあるため、隣接する保育園からその使用に関して不安の声が上がっている。当局の対応を伺う (2) 令和５年度当初予算では都市環境の美化及び快適な道路環境という観点から、新たに道路管理課所管の道路雑草対策事業が計上されている。本市管理の水路沿いの雑草等についても同様の対策事業を行うべきではないか、見解を伺う 住宅確保要配慮者支援事業の取組みについて伺う 沖縄独自の自然や歴史文化、風景や生活が詠みこまれた琉歌や短歌、詩、俳句等のいわゆる「うた」は、時代を伝える貴重な文化資源であり、「うた」を詠むことは地域や世代を超えた文化活動である。こうした文化資源、文化活動を那覇のまちづくりや観光等に活かしてはどうかと考える。本市の見解を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	永 山 盛太郎 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 公有財産について 2 道路行政について 3 保育行政について 4 学校行政について 5 漁港行政について	旧古波蔵ふれあい館跡地に関して伺う 道路の安全管理等に関して伺う 物価、燃料費高騰等による保育園、こども園等の負担に対する本市の対応を伺う G I G Aスクールについて伺う (1) タブレットの活用状況について伺う ① 授業での使用状況、授業以外での有効活用について伺う ② 低学年等操作に不慣れな児童への対応について伺う ③ 教職員へのタブレット活用について伺う (2) 機器の保守について伺う ① タブレット等の故障や保守状況について伺う ② 保護者に修理費を請求した事例はあるか伺う ③ 経年劣化対策について伺う 泊漁港将来像構想策定事業について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 都市や道路 の在り方につ いて	(1) 那覇空港の違法駐車やレンタカーの受け 渡しは、具体的にどの程度改善されているの か伺う (2) 観光バスの路上駐車や待機の改善状況を 伺う (3) 一銀通りの開発と、道路拡張の関連はどう なっているのか伺う (4) とまりんと那覇市の、現在の関係性はどう なっているのか伺う
		2 制度の改善 について	(1) 介護認定の改善状況について伺う (2) 指定管理者制度の趣旨として、市民サービ スの向上が謳われていたはずが、令和５年度 予算編成に向けては、適正なサービス水準の 確保と、格下げされている理由について伺う (3) 生活保護受給者が家を借りる際の問題点 について伺う (4) 給食表をスーパーに貼り出すなどの連携 提案について那覇市の考えを伺う (5) 菓のシートのリサイクル提案について那 覇市の考えを伺う
		3 安全保障に ついて	弾道ミサイル飛来を想定した住民避難訓練が 行われたが、どのような事態を想定しているのか 伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 子どもの貧困対策について 2 ジェンダー行政について 3 ジェンダー・防災行政について 4 国保行政について 5 特別支援教育について 6 中心商店街の活性化について	小学校と中学校の入学準備金について、概要を問う 世界保健機関（WHO）が定義しているリプロダクティブ・ヘルス＆ライツ（性と生殖に関する健康・権利）を保障する施策を進めるべきである。見解を問う これまでも、LGBTQなど性的マイノリティも安心して避難生活を送れるように、災害・防災における性的マイノリティへの配慮等について、災害時などの対応を定めた避難所運営マニュアルへ盛り込むことを求めてきた。その後の対応について問う 「那覇市自営業者傷病手当金」について、申請状況について問う 特別支援教育を必要とする児童生徒は毎年、増えている。市内小中学校の特別支援学級の現状について問う (1) 第一牧志公設市場について いよいよ多くの皆さんが待ち望んだ新第一牧志公設市場がオープンする 新公設市場の役割、今後の中心商店街活性化に寄与する取り組みを問う (2) 仮設市場の跡地活用について 11 月定例会において、跡地利用は、地域住民と商店街関係者からも意見を聞くことを求めてきた。対応を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) トイレ提供店舗支援事業について 支援店舗数と支援額について問う 7 壺屋焼物博物館について 壺屋町民会自治会より壺屋焼物博物館の専用駐車場整備等を求める要請について、6月と9月定例会で実現を求めてきた 高齢者や障がいがある方々も安心して訪れることができる博物館の環境整備には、福祉の観点からも駐車場の確保とスロープの設置などが必要である。早急の対応を求めることについて問う 8 首里城復興について 2021年11月定例会で、首里城正殿の龍頭棟飾の作成には、壺屋陶器事業協同組合の参加を本市としても実現するために県へ要請することを求めてきた。その際、城間幹子市長と担当部長から「機会を捉えて県へ要請をしてまいりたい」との答弁だった 今年2月6日、壺屋陶器事業協同組合は記者会見を行い、首里城正殿の龍頭棟飾の復元にあたっては、同組合と県立芸大などの沖縄側が主体的に関われるように県へ求めた 本市からも、首里城の復元は、「県民の力で復興する」こと、「次世代への技術の継承する」ためにも、同組合が主体的に関われるように県へ要請すべきである。見解と対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	普久原 朝 日 (立 憲 な は) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 保育行政について 2 文化行政について 3 学校行政について	認可外保育施設の質の確保・向上への取り組みについて (1) 現状と課題について伺う (2) 次年度の取り組みについて伺う 次年度のなは一とにおいて主力となる自主事業について (1) 学校教育におけるタブレット端末の家庭への持ち帰りと家庭学習の充実に向けた取り組みの導入メリットと課題について伺う (2) 教員の負担軽減の取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	栗 國 彰 (自由民主)	1 一括交付金について	一括交付金減額による、本市の事業の影響と令和２年３年の交付金額を伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 道路行政について	真和志線街路整備事業当該路線は、現道幅員が狭く、車道、歩道の区分がない中、小・中・高校の通学路となっており、歩行者の安全確保は最優先課題である。建物、土地所有者などは長年にわたり不自由な生活が余儀なくされ、１日も早い整備完了を望む声が強く寄せられている。そこで、以下質問する (１) 都市計画決定、事業認可の時期及び事業概要(計画幅員延長)及び事業期間について(事業期間延長及び延長理由) (２) 総事業費及びその内訳について用地補償費、道路築造費、用地買収面積、補償件数及び過年度の事業費及び進捗率について
		3 公園行政について	識名公園整備事業について (１) 当公園の整備について、多目的利用が可能な整備が必要と考えているが、整備計画概要を伺う (２) 都市計画決定、事業認可の時期、事業期間について（事業期間延長及び延長理由） (３) 総事業費及び内訳について（用地補償費、工事費、用地買収面積、補償件数） (４) 過年度の事業費及び進捗率について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 都市計画行政について	真嘉比古島違法換地処分事件について (1) 真嘉比古島違法換地処分事件は、約 30 年 間も違法状態が放置され、令和 2 年 2 月 28 日那覇市の換地処分が違法でないとする最 高裁判所への上告は門前払いされ、那覇市の 換地処分の違法が確定した。換地処分が違法 と確定した理由は、換地処分線から那覇市の 造成工事をしなかったことが法第 103 条第 2 項本文違反、本件事件だけ唯一造成工事しな かったことは著しい差別で法第 89 条の公平 の原則に反することであった。本件事件が違 法と確定した理由及び法的根拠について伺う (2) 沖縄県の裁決書は「換地処分は不当である が換地処分は取消しない」としている そして、解消する方法として、那覇市が換 地から造成工事すれば不当は治癒されると 示している。本員は沖縄県の裁決書の案文の 文章の内容は、那覇市造成工事をするべきこ とを示していると考えるが、沖縄県の裁決書 は換地処分不当を解消する方法として、那覇 市が換地線から造成工事をする方法を示し ているのではないか、伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

一般質問（２日目） 令和５年２月１７日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	與 儀 喜 邦 (立 憲 なは) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 健康行政について 2 精神保健福祉について 3 教育行政について	令和５年度施政方針で、私の全ての力と職員力、組織力を最大限に発揮し、市政運営を行っていく覚悟と述べている。市職員に力を発揮してもらうためには、健康管理が大切となる。以下伺う (１) 安全衛生管理体制の概要について (２) 市職員の健康診断受診率について (３) 産業医及び保健師等の配置について (４) メンタルヘルスの取組について コロナ禍で自粛や制限により市民のストレスが増えている状況だと考える。以下伺う (１) 「こころの健康」に関する相談件数及び内容について (２) アルコール依存症の取組及び課題について コロナ禍における児童生徒の健康管理について、以下伺う (１) 学校でのマスク着用の現状 (２) 小児生活習慣病検診について 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長